

モルック

Mölkky (モルック) とは、フィンランドのカレリア地方の伝統的な kyykkä というゲームを元に、Tuoterengas 社 (フィンランド) によって 1996 年に開発されたスポーツです。母国フィンランドでは、サウナとビールを楽しみながらプレイする気軽なスポーツです。とても簡単なルールで老若男女問わず気軽に楽しめます。

ルール

モルックを投げて倒れたスキットルの内容によって、
50 点ピッタリになるまで得点した方が勝ち！

- ①モルックを投げる地点にモルッカーリを置き、そこから 3~4m 離れたところにスキットルを順番に並べたら、準備完了です。
投擲時にモルッカーリに触れたり、踏み越えたりするとファウルとなり 0 点となります。
- ②2 チーム以上で対戦しますので投擲順を決め、順番にモルックを投げてスキットルを倒します。このとき複数本のスキットルが倒れた場合は、「倒れた本数=点数」となります。
1 本しか倒れなかった場合は、「倒れたスキットルに書かれている数字=点数」となり、先に 50 点先取した方の勝利となります。
- ③スキットルは、倒された地点で再び立てられます。
スキットルはゲームが進むにつれて広がり、倒すのが難しくなってきます。いずれかのチームが 50 点を先取した時点でゲーム終了となります。



こんなとき、どうするの？

〇完全に倒れていない場合

スキットルが完全に倒れていない
(重なって地面についでいない)
場合はカウントしません。

〇50 点を超えた場合

50 点を超えて得点した場合、
25 点へ減点され、ゲームは継続されます。

〇3 回ミスが続いた場合

3 回連続スキットルを倒せず、失投した場合
0 点と記録され、失格となります。